

# CASIO View

2010年度中間事業報告書

2010年4月1日～2010年9月30日

## CONTENTS

社長インタビュー	1
新製品紹介	3
ユニーク CASIO	5
注目ニュース	8
業績のご報告	9
財務情報	11
株式情報	13
会社情報	14
株主メモ	裏表紙

**CASIO**



## 社長インタビュー



代表取締役社長

樋尾 和雄

各事業の強みを活かした展開で  
業績回復を加速事業統合と高収益の基盤事業により、  
黒字回復を達成

Q. 今年度上期の業績について概況をお聞かせください。

前期より取り組んでまいりました経営改革と事業強化策により、今年度の上期は黒字基調を回復し、新たな成長に向けて確実な一步を踏み出しました。

携帯電話と TFT 事業が事業統合により連結対象から外れ、売上高は前年同期比で減少しましたが、時計や電子辞書などは引き続き高収益を維持した結果、営業利益、経常利益、純利益は、すべて黒字となりました。

Q. 今後の事業戦略をお聞かせください。

事業統合の影響により一旦売上規模は縮小しましたが、新規事業の積極展開と、もとより優良な基盤事業の着実な拡大により、しっかりと成長軌道に乗せてまいります。

具体的には、「アートのデジタル化」を始めとした新規事業の立ち上げ、デジタルカメラ事業の強力な差別化商品の投入による利益改善、安定した利益を上げている

時計・電子辞書の海外売上拡大、システム事業の収益改善により、各事業の改善、発展を進めます。

## 新規事業の立ち上げと、既存事業の強化

### Q. 「アートのデジタル化」とは？

これまでカシオは、電卓、時計、電子楽器、デジタルカメラなどの分野を、デジタル技術で革新してきました。そして今、挑んでいるのが、アートのデジタル化という新しいコンセプトです。

ハイスピード技術を活かして芸術的な写真を撮影するHDRアート機能を備えたデジタルカメラや、撮影した写真を絵画調に変換できるフォトプリンターなど、特別な技術がなくても、誰でも絵やアートを気軽に楽しめる画期的な提案により、新しい市場を開拓します。

画像は見るだけではなく、プリントして人に見せたり、さまざまな形で「アウトプット」してこそ楽しめるものです。お互いに連携する多彩な「アウトプット」のサービスを新規事業として立ち上げ、早期の業績貢献を目指

します。

### Q. その他の事業についてはいかがでしょうか。

時計事業においては、アジアで好調なブランド「SHEEN」を国内でも下期から投入し、女性向けメタルアナログウォッチ市場での拡大を目指します。G-SHOCKは引き続き世界各地で「Shock the World」イベントを実施しブランドを強化、EDIFICEはグローバルブランドとして確立すべく展開してまいります。電子辞書はカラーフラッシュカードを活かして、中国での売上拡大を図ります。システム分野では、環境性能で差別化した水銀フリープロジェクターの拡販に注力します。

### Q. 株主の皆様へ一言お願いします。

当社は今後も「ゼロから1を生む」開発精神に則り、ユーザーの潜在的なニーズに応える商品づくりに励みます。そして、商品力を最大限に活かす事業施策の推進と経営改革に努めることで、より強固な収益構造の確立に取り組んでまいります。皆様のご支援を、よろしくお願ひ申し上げます。

# 新製品紹介 2010年4月▶2010年9月

## ● コンシューマ

### 広角・高倍率ズームと超高速連写を実現した小型の「EXILIM」

EX-FH100 (4月発売)

コンパクトサイズでありながら、広角 24 ミリからの光学 10 倍ズームレンズを搭載した有効画素数 1010 万画素のハイスピードデジタルカメラです。高感度 CMOS センサーとハイスピード技術で高画質の写真撮影が可能です。



### 絵画変換機能を備えた「プリン写ル」

PCP-1400 (9月発売)

パソコンを使わずに年賀状や引越し報告のはがき作成や写真のプリントができるハガキ＆フォトプリンター。お気に入りの写真データを「水彩」「油彩」「色鉛筆」「パステル」の 4 種類の絵画に変換できる絵画変換機能も搭載しています。

### 1/1000 秒の計測ができる「EDIFICE」

EQW-M1100 (8月発売)

モータースポーツで使われる 1/1000 秒を計測できる多針フェイスのクロノグラフ。2 層に重ねた文字板や円盤状のディスク針で躍動感あふれるデザインに仕上げています。正確な時を刻み続けるソーラー電波ウォッチです。



### 家庭で役立つコンテンツを搭載した「EX-word」

XD-A6200 (7月発売)

日々の学習に役立つ辞書コンテンツに加え、育児書や子供と一緒に英語が学べる英語童謡集や英単語集、料理のレシピなど、家庭の様々な場面で役立つコンテンツを収録した電子辞書です。



### ゴルフのレッスンに最適な「EXILIM」

EX-FC160S (8月発売)

ゴルファーに向けたハイスピードデジタルカメラ。ハイスピードムービーで撮影した超スピード映像とカメラの液晶モニターに表示されるガイドラインを使って、ゴルフのスイングチェックができます。



## 耐久性に優れた 強靭なバンドの 「G-SHOCK」

GW-S5600 (6月発売)

時計本体の耐衝撃性能に加えて、樹脂バンドの中に航空機などに使われているカーボンファイバーを封入し、バンドの耐久性を高めた「G-SHOCK」。世界6局の標準電波に対応したソーラー電波ウォッチです。



## インド式桁表示に 切り替えができる電卓

MJ-120D (8月発売)

千の位で区切った後、十万、千万と2桁ずつ区切りを入れるインド式桁表示を採用し、一般的に使われている3桁ずつ区切る桁表示との切り替えを可能にした電卓です。



## 多彩な音色やエフェクトで 演奏できるプロ仕様の「Privia」

PX-3 (4月発売)

電子楽器事業 30 周年を記念して開発した、ステージ演奏に適した音色と多彩な機能を搭載した電子ピアノです。



## ● システム

### 飲食店のオーダー業務を 支援する「Easy Booklet」

オーダーエントリーシステム (7月発売)

ページをめくってメニューを選ぶブックレット型のハンディターミナルを採用し、使いやすさを追求しています。



### 運用コスト削減と環境への配慮を 追求した「SPEDIA」

GE5000 (9月発売)

省電力回路の搭載や、用紙等の節減を支援する印刷ツールなどにより、エコノミーとエコロジーを促進するカラーページプリンタです。



## デジタルカメラの進化とは一線を画す、カシオの“写真革命”

カシオのデジタルカメラ分野から、“旅”と“アート”をテーマに掲げた新製品が発表された。「撮る、見る、記録する」というカメラ本来の性能に、「楽しむ」という新たな価値を提案。成熟産業ともされるデジタルカメラ市場において、明確に差別化された製品をいかに開発し、マーケットを活性化させるか。新製品にこめた想いを開発者に聞いた。

1995 年に世界で初めて液晶モニター付きデジタルカメラ『QV-10』を発表したカシオ。以来、固定概念にとらわれず、今日にいたるまでデジタルカメラを進化させてきた。



QV事業部  
小野田 孝

その精神を受け継ぎ、「撮る、見る、記録する」というカメラの基本性能に加え、「楽しむ」という価値を備えた新製品 2 機種を発表した。テーマは“写真革命”。カシオのデジタルカメラは単なるカメラに留まらず、新たな楽しみを提供する【Amazing Gear】として位置づける。

### 見えなかった世界を写すハイスピードカメラの新ステージ

企画開発段階から『EX-ZR10』に携わってきた小野田は、「『EX-ZR10』

新たな写真文化・価値を  
「アートカメラ」で創造した

はカメラであってカメラでない、突き抜けた存在」と言い切る。

「連写合成と画像処理によって、絵画なのか写真なのかわからない、“新しい画像”を生み出すことに成功しました。これもひとえに、我々が現時点で理想とする、最高のエンジンを開発できたのが大きいですね」

白飛び、黒つぶれを抑え、明暗の差が激しい部分まで鮮明な写真を撮る機能ならば、これまでのHDR（※）機能の強化に過ぎない。

今回『EX-ZR10』に搭載されたHDR アート機能は、1 秒間に 40 枚の速度で露出が異なる複数の画像を撮影し、撮影された画像群を一枚に合成、新たな写真表現を創り出すこ

通常の撮影



HDR



### 芸術的な写真が撮れるHDR技術とは

露出の異なる連写画像を合成し、1枚の画像に収めるのがHDR(High Dynamic Range)技術。白飛びや黒つぶれを抑えて、鮮明な写真を撮影できる。さらに、このHDR技術を駆使して、芸術的な写真を創り出す機能がHDRアートだ。



HDRアート

とに成功した。

「小型化、省電力、耐久性の追求とともに、起動、レスポンス、連写、フォーカスなど、カシオはあらゆる部分での高速化を目指してきました。その結果誕生した『EXILIMエンジン HS』は、高速画像処理と高速撮影テクノロジーの融合体です。『EX-ZR10』の特長であるHDRアート機能や驚異的な撮影間隔の短さは、こうして生み出されました」

カシオの強みは、プロダクトの用途提案が豊富かつ的確だという点にある。「良質な製品を生み出し、人々の豊かな生活に貢献するため、一人ひとりの使用シーンを開発段階から想定している」と語る小野田の視線

は、常にエンドユーザーに向けられている。

### 旅のスタイルの変化が新たな価値創造につながる

「予定を立てる、現地の情報を集めるなど、旅行は出発前から始まっています。従来はそこにカメラが入りこむ余地はありませんでした。写真を撮るために媒体としてしか、認識されませんでしたからね」

柳が手がけたハイブリッドGPSシステムを搭載したデジタルカメラ『EX-H20G』には、旅行中の想い出を記録するだけでなく、旅行前や旅行後にも旅を楽しめる機能が搭載されている。

たとえば旅行前は、本体に内蔵した地図と景勝地情報を見ながら旅行の計画を立てる。旅行中は写真を撮るだけでなく、現在地や目的地、周辺のオススメ撮影スポットの確認、移動軌跡情報を見ながらの行動が可能なので便利で楽しいだけでなく安心だ。旅行後は撮影した画像をPCソフトにとりこみ、PicasaやGoogle Earthなどを用いて地図上に旅の記録を再現するなど、新しい旅の楽しみ方を提供する。

「ユーザーの声からデジタルカメラの購入理由を調べると、『旅行用』というキーワードは常に上位に挙がります。使用状況が明確であればあるほど、ユーザーはその製品に対し



て商品価値を見出します。今回の『EX-H20G』では、パソコンに接続しないとわからない価値ではなく、出発前から出発後まで、旅をトータルで楽しくする価値の創造を目指しました」

単純に旅を記録するカメラではない。『EX-H20G』はまさに手のひらに乗る、旅のパートナーと呼べる。

### カシオのものづくりは ユーザーの期待を超える

“アート”や“旅”など、各モデルのインパクトの強さに隠れがちだが、光学ズームレンズや高画素クリア液晶などの基本スペックは『EX-ZR10』『EX-H20G』のいずれも前モデルか

### 世界の主要150都市の 地図がカメラに

ハイブリッドGPSを搭載した『EX-H20G』が、旅のスタイルを劇的に変える。旅行前（景勝地チェック）、旅行中（撮影、地図活用）、旅行後（地図情報と連動した画像アップ）の各ステージで楽しむ、旅のパートナーだ。



現在位置と移動軌跡を表示

ら比べて格段に進化している。

従来からの写真の楽しみ方に独自のデジタル技術を付加し利便性やカメラを用いた可能性をユーザーに提案する。それがカシオの使命なのだ。

ユーザーの支持を得る製品とは、機能や用途、製品の完成度が“ユーザーの期待を超える”ことにある。「カシオのデジタルカメラは、もはやフィルムカメラの進化版ではない」と2人が口をそろえるのは、カシオ独自の発想がテクノロジーを進化させ、新たな価値を創出すること

への自信のあらわれだ。

カシオはEXILIMシリーズを、常に新しい驚きと感動を生み出す【Amazing Gear】と位置づけ、“写真革命”を進めていく。

QV事業部  
柳 和典



新たな旅の楽しみ方を創造  
頼れるパートナー「旅カメラ」

## 注目ニュース

Topic 01

### EX-G1 が欧州の「TIPAアワード」を受賞

耐衝撃・防水・防塵性能を備えた EX-G1 が、4月、欧州写真業界において多大な影響力を持つTIPA (Technical Image Press Association) 主催の「TIPAアワード2010」にて「Best Rugged Compact Camera」を受賞しました。

TIPA は、14カ国 の写真・映像関連誌 30 誌で構成された、権威ある団体です。毎年、各カテゴリ

で優れた製品を表彰しており、当社のデジタルカメラが受賞するのは、一昨年の EX-F1 「Best Imaging Innovation」以来、2度目となります。

スリムでスマートな外装を実現しつつ、タフな実用性を備えた、機能美あふれるカメラとして高い評価を得ました。



EX-G1

Topic 02

### カシオタイ、5年連続優良企業賞を受賞

カシオタイは、タイの厚生労働省より「労使関係・福利厚生における優良企業賞」を5年連続で受賞し、アビシット首相より表彰状を賜りました。

カシオタイでは日頃より地域貢献活動や、従業員が働きやすい環

境作りなど、内外のステークホルダーと良好な関係を築く取り組みを積極的に行っており、これらが評価につながりました。7月には、出産した女性社員のために母乳育児支援室を施設内に設置するなど、次々と施策を実現しています。



# 業績のご報告

## 当第2四半期連結累計期間の業績概要

当上半期における内外経済は、緩やかな回復傾向が継続しているものの、欧州諸国の財政問題に端を発する景気減速懸念を払拭するには至らず、依然として予断を許さない状況で推移しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、事業統合による子会社の連結除外<sup>※</sup>に伴う影響により、

### ■ 主要財務指標（連結）

科目	第2四半期連結累計期間		
	2010年度	2009年度	2008年度
<strong>経営成績</strong>			
売上高（百万円）	176,361	197,298	272,398
営業利益（百万円）	5,272	△ 14,913	18,211
経常利益（百万円）	5,069	△ 12,929	17,665
四半期純利益（百万円）	2,558	△ 10,891	9,722
1株当たり四半期純利益（円）	9.32	△ 39.26	35.18
<strong>財政状態</strong>			
総資産（百万円）	376,312	409,808	484,088
純資産（百万円）	149,533	164,865	231,355
1株当たり純資産（円）	555.73	608.00	804.78
<strong>その他</strong>			
設備投資額（百万円）	3,137	5,378	6,971
減価償却費（百万円）	3,715	5,759	6,506

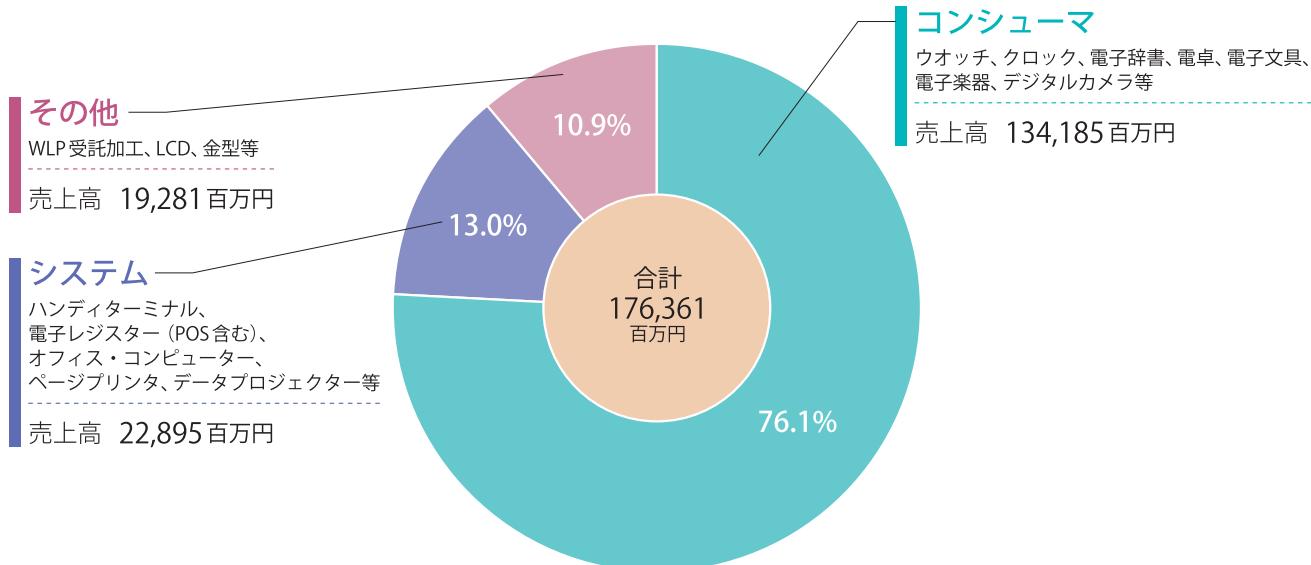
対前年同期比 10.6% 減の 1,763 億円となりました。セグメント別について見ますと、コンシューマは 1,341 億円となりました。デジタルカメラは新製品 8 機種を投入し、欧州や中国を中心に展開しました。時計は「G-SHOCK」や「EDIFICE」といったブランドが北米やアジアを中心とした海外で好調に推移しました。また、電子辞書は引き続き国内で圧倒的なトップシェアを確保し、中国でも売上規模を拡大しました。システムは 228 億円、その他は 192 億円となりました。

損益につきましては、コンシューマは 75 億円の営業利益となりました。時計や電子辞書は引き続き高収益性を維持しました。システムは 7 億円の営業損失、その他は 3 億円の営業利益となりました。この結果、調整後の連結合計として 52 億円の営業利益となりました。また、経常利益は 50 億円、四半期純利益は 25 億円となりました。

※携帯電話事業の日本電気株式会社、株式会社日立製作所との事業統合に伴い、株式会社カシオ日立モバイルコミュニケーションズ（連結子会社）は、平成 22 年 6 月に NEC カシオモバイルコミュニケーションズ株式会社に吸収合併し、同社が持分法適用関連会社となりました。TFT 液晶事業の凸版印刷株式会社との事業統合に伴い、同事業を承継した株式会社オルタステクノロジー（連結子会社）は平成 22 年 4 月に持分法適用関連会社となり、高知カシオ株式会社（連結子会社）は関係会社ではなくなりました。

## ■ 売上高のセグメント別構成比

2010年度より、セグメントが変更になりました。



## 通期の業績見通し

現時点での平成23年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成22年5月12日公表）に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を活かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体质強化に取り組みます。

### ■ 2010年度業績見通し（連結）

売上高	3,750億円	(前期比 △12.4%)
営業利益	150億円	(前期比 — )
経常利益	130億円	(前期比 — )
当期純利益	70億円	(前期比 — )

## 財務情報

## 要約財務諸表(連結)

## ■貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (2010年9月30日現在)	前連結会計年度末に 係る要約 連結貸借対照表 (2010年3月31日現在)	科目	当第2四半期 連結会計期間末 (2010年9月30日現在)	前連結会計年度末に 係る要約 連結貸借対照表 (2010年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>					
流動資産	238,272	275,450	流動負債	105,476	153,115
現金及び預金	40,176	52,756	支払手形及び買掛金	45,032	66,219
受取手形及び売掛金	60,884	75,565	短期借入金	14,442	15,846
有価証券	59,216	53,428	1年内返済予定の長期借入金	200	450
製品	27,078	32,794	未払法人税等	3,046	3,481
仕掛品	4,208	5,700	製品保証引当金	1,012	1,946
原材料及び貯蔵品	7,499	12,128	事業構造改善引当金	—	3,100
その他	39,848	43,706	その他	41,744	62,073
貸倒引当金	△ 637	△ 627	固定負債	121,303	108,011
固定資産	138,040	154,533	社債	25,000	10,000
有形固定資産	68,213	71,657	新株予約権付社債	50,000	50,000
土地	38,664	38,702	長期借入金	28,000	28,000
その他(純額)	29,549	32,955	退職給付引当金	10,571	10,012
無形固定資産	6,495	13,348	役員退職慰労引当金	2,707	2,666
投資その他の資産	63,332	69,528	その他	5,025	7,333
投資有価証券	48,956	53,155	負債合計	226,779	261,126
その他	14,433	16,434	<b>(純資産の部)</b>		
貸倒引当金	△ 57	△ 61	株主資本	159,884	166,489
			資本金	48,592	48,592
			資本剰余金	65,703	65,704
			利益剰余金	54,108	55,712
			自己株式	△ 8,519	△ 3,519
			評価・換算差額等	△ 10,413	△ 6,305
			その他有価証券評価差額金	955	3,131
			繰延ヘッジ損益	△ 293	△ 287
			為替換算調整勘定	△ 11,075	△ 9,149
資産合計	376,312	429,983	少数株主持分	62	8,673
			純資産合計	149,533	168,857
			負債純資産合計	376,312	429,983

### ■損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
売上高	176,361	197,298
売上原価	119,037	151,457
販売費及び一般管理費	52,052	60,754
営業利益又は営業損失(△)	5,272	△ 14,913
営業外収益	1,146	3,157
営業外費用	1,349	1,173
経常利益又は経常損失(△)	5,069	△ 12,929
特別利益	25	948
特別損失	408	2,228
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	4,686	△ 14,209
法人税等	2,605	2,350
少数株主損益調整前 四半期純利益又は 少数株主損益調整前 四半期純損失(△)	2,081	△ 16,559
少数株主損失(△)	△ 477	△ 5,668
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	2,558	△ 10,891

### ■セグメント情報

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
売上高	
エレクトロニクス機器事業	—
デバイスその他事業	—
消去又は全社	—
合計	197,298
営業損失(△)	
エレクトロニクス機器事業	—
デバイスその他事業	—
消去又は全社	—
合計	△ 14,913
科 目	当第2四半期 連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
売上高	
コンシーマ	134,196
システム	23,259
その他	22,649
調整額	△ 3,743
合計	176,361
セグメント利益又は損失(△)	
コンシーマ	7,518
システム	△ 793
その他	313
調整額	△ 1,766
合計	5,272

### ■キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,152	5,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,093	△ 9,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,159	△ 13,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	105,936	86,490

### ■報告セグメントの変更及び連結除外事業について

報告セグメントを、前期までの「エレクトロニクス機器事業」、「デバイスその他事業」の2つから、当期より「コンシーマ」、「システム」、「その他」の3つに変更しています。各報告セグメントに属する主要な製品及びサービスの種類は次のとおりであります。

- ・コンシーマ…ウォッチ、クロック、電子辞書、電卓、電子文具、電子楽器、デジタルカメラ等
- ・システム……ハンディターミナル、電子レジスター（POS含む）、オフィス・コンピューター、ページプリンタ、データプロジェクター等
- ・その他……WLP受託加工、LCD、金型等

また、従来より展開してまいりました携帯電話事業、中小型ディスプレイ事業につきましては、以下の変更に伴い、連結除外されております。

- ・2010年4月1日 中小型ディスプレイ事業を株式会社オルタステクノロジー（出資比率20%）に統合。
- ・2010年6月1日 携帯電話事業をNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社（出資比率20%）に統合。

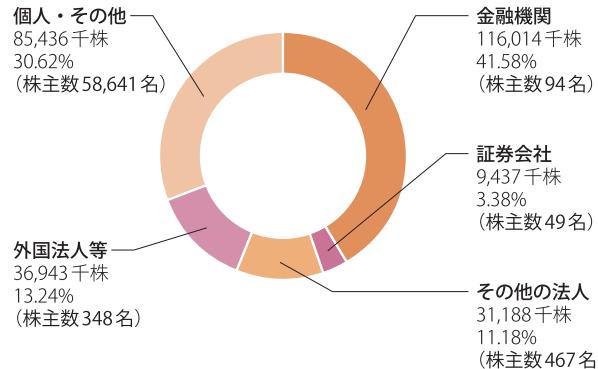
# 株式情報

## 株式の状況 (2010年9月30日現在)

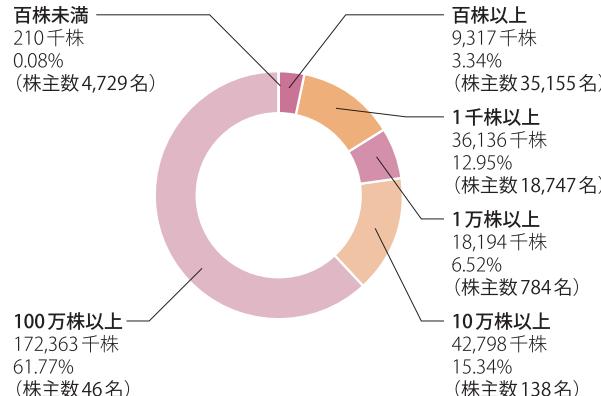
発行可能株式総数	471,693,000株
発行済株式の総数	279,020,914株
株主数	59,599名

### ■所有状況

#### 所有者別内訳



#### 所有株式数別内訳

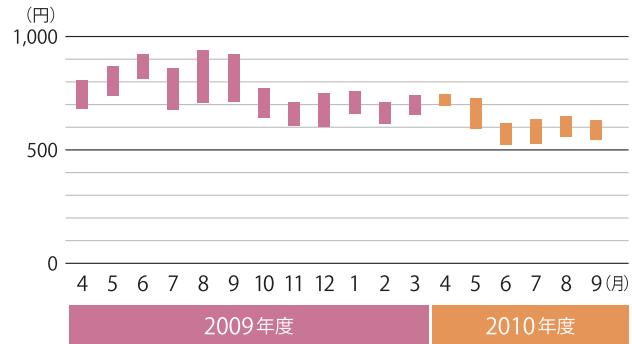


## 大株主 (2010年9月30日現在)

株主名	持株数 千株	出資比率 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	15,383	5.72
日本生命保険相互会社	13,669	5.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	10,746	4.00
カシオ計算機株式会社	10,057	—
有限会社カシオプロス	10,000	3.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	9,865	3.67
株式会社三井住友銀行	6,821	2.54
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	6,760	2.51
野村信託銀行株式会社（投信口）	5,146	1.91
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,097	1.90

(注)出資比率は自己株式（10,057,490株）を控除して計算しております。

## 株価の推移



# 会社情報

## 会社概要 (2010年9月30日現在)

商号	カシオ計算機株式会社	設立年月日	1957 (昭和32) 年6月1日
英文商号	CASIO COMPUTER CO.,LTD.	資本金	48,592,025,877円
本社	東京都渋谷区本町一丁目6番2号	従業員数	2,643名
TEL : 03-5334-4111 (代表)			

## 役員 (2010年9月30日現在)

### 取締役

樺尾 俊雄	代表取締役会長
※ 樺尾 和雄	代表取締役社長
※ 樺尾 幸雄	代表取締役副社長
※ 村上 文庸	専務取締役 コンシューマ事業部長
※ 山本 高穂	常務取締役 経営統轄担当
※ 高木 明徳	常務取締役 財務・IR担当
※ 中村 寛	常務取締役 営業本部長
※ 樺尾 彰	常務取締役 営業本部 副本部長 兼 システム事業部長
※ 高須 正	取締役 研究開発 兼 知的財産 兼 環境担当
※ 高島 進	取締役 研究開発センター長
※ 武市 浩一	取締役 総務人事統轄部長
※ 増田 裕一	取締役 時計事業部長

(※印の取締役は執行役員を兼務しています。)

### 執行役員

樺尾 和宏	経営統轄部長
持永 信之	経営統轄部 経営企画部長 兼 研究開発センター 副センター長
守屋 孝司	営業本部 戦略統轄部長
中村 均	営業本部 国内営業統轄部 副統轄部長
樺尾 哲雄	営業本部 CS統轄部長
沖室 敏治	営業本部 北米地域統轄担当
外山 秀之	総務人事統轄部 人事部長
泉 徹郎	システム事業部 副事業部長 兼 CXDネクスト社長
樺尾 隆司	宣伝部長 兼 カシオコミュニケーションズ社長
中山 仁	QV事業部長
高野 晋	財務統轄部長

### 監査役

※ 本多 健	常勤
梅田 富源	常勤
※ 大徳 宏教	公認会計士・税理士

(※印の監査役は社外監査役です。)

# カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号

## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 每年3月31日（中間配当制度はございません。） そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-176-417 (受付時間 土・日・祝祭日を除く 9時~ 17時)
(ホームページ)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 下記の当社ホームページに掲載する。 <a href="http://www.casio.co.jp/ir/">http://www.casio.co.jp/ir/</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引所	東京

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

株式に関する各種お手続（住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など）につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

〈本報告書に関するお問い合わせ先〉

カシオ計算機株式会社 総務人事統轄部 総務部 総務課 TEL : 03-5334-4845

